

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーテラス上尾教室（放課後等デイサービス・児童発達支援）				公表日	2025年 2月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・トレーニングの内容によって机や椅子の配置を考慮している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・既定の人員よりも多く配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	・階段が急で狭いが、手すりが付いている。	・小さいお子様がいるご家庭は手を繋いで階段昇り降りのご協力をお願い致します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・限られた空間ではあるが、過ごしやすい環境作りに努めている。	・運動に制限がかかるためスポーツ系のレクを行いつらい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・静養室やスタッフルームを使用している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・終礼にて療育だけでなく業務全般の振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・アンケートの結果を受け、職員間で協議し業務改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・業務の振り返りやトレーニングの方針について話し合い、業務改善を進めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・第三者評価は行っていないが、ハッピーテラス本部の指導を定期的を受けている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・毎月一回の勉強会、ハッピーテラス本部の研修に参加している。その他、資格取得に向けた研修等周知を行っている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・ホームページにて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・モニタリング以外にも、日々の活動の様子や保護者からの希望に沿うように作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画・児童発達支援計画（以下、個別支援計画とする）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・原案を作成する前に職員全体で話し合い、課題や目標について検討している。			
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・作成された放課後等デイサービス計画を職員全員が目を通して目標に合わせた支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・面談の際には、ご家庭や学校・園の様子を丁寧に聞き取りを行うよう心掛けている。また、教室での様子も同様にお伝えさせていただいている。	・面談の際には、ハッピーテラス独自のアセスメントツールを実施件数を増やしていく。		
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービス・児童発達支援ガイドラインの「放課後等デイサービス（児童発達支援）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインを前提に保護者へのアセスメントからニーズや課題を踏まえ計画を作成している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・朝礼で共有を行っている。			

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・教室内で話し合い、イベント・微細運動を決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用生徒や状況等を踏まえ計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日に行うトレーニングの内容を全体で共有し座席や役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼にて振り返りや情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援内容やその日の様子、出来事を記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・3か月から半年に一度モニタリングを行い計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービス・児童発達支援ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		・基本活動を組み合わせて実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・自己決定できる場面を意図的に設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・参加させていただいている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・整えている。今年度事例に合わせて、市や学校・園との情報交換など実施できた。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・今年度も近隣小中学校等と情報交換を行う機会が設けられた。	・連携する学校を増やしたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・昨年度から今年度にかけての児発からの移行なし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・昨年度卒業生いないため提供機会無し。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・協議会や児発管更新研修、ハッピーテラス本部の研修にて実施。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・今年度機会無し。現在交流に対するニーズはそこまで大きくはないが、お出かけイベントなどで機会を提供できるよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・今年度も参加させていただいた。	・教室の状況にもよるが参加人数を今後増やしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や月次短信にて報告している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・面談時やご相談があった際には情報提供等を行っている。	・全体や地域に向けての提案までではできていないので今後検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時やご相談の際に丁寧に伝えようとして努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・アセスメントツールの使用やモニタリングでお子様の状況や保護者の方の考えを尊重して作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・現在の目標と原案を示し、説明を行って同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・ご相談を受けた際には支援を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・今年度の実績がないため、次年度の開催を目指したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ご意見をいただいた際には、真摯に受け止めより良い教室作りに反映させていく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログやハッピーテラス通信にて公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されている書類などは鍵付きのロッカーに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・利用生徒、保護者に合わせて情報を伝達するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・教室の規模の関係で多くの方を招くことは難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・契約時に保護者へ説明している。 ・勉強会の一環としてマニュアルの確認や訓練を行っている。	・周知の部分が契約時や避難訓練、安全指導の実施日など一部限定的であったので改善していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・訓練だけでなく通常トレーニングでも安全に関するものを実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者へのアセスメントの際に服薬等の状況を伺っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師から直接の指導はないが、保護者より共有されている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・勉強会で内容を確認し、支援に繋げている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に説明させていただき、緊急連絡先等の協力をお願いしている。	・周知の部分が契約時や避難訓練、安全指導の実施日など一部限定的であったので改善していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事例をまとめ全体で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を中心に実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・準備等々しているが、身体拘束を行う利用生徒の該当なし。		